

全国一級河川の水質現況のとりまとめについて (平成 29 年度)



国土交通省は、毎年川の日である 7 月 7 日の前に水質調査結果を公表しています。対象となる全国の一級河川において、BODの年平均値及びBOD75%値の平均がともに 0.5mg/l である、「水質が最も良好な河川」は、16 河川でした。その中でも熊本県の川辺川は、12 年連続の該当となります。この他にも、BOD 又は COD の環境基準を満足した調査地点の割合は 91%であり、その中でも、河川の環境基準達成度は 10 年連続で 95%以上(平成 29 年度は 96%)でした。また、水質事故の発生件数は過去 10 年で最少発生件数(平成 29 年度は 865 件)になるなど、全国的にも良好な水質を保っているという結果になっています。

河川の良好な水質は地域の活性化にもつながり、各地方においても水質改善における様々な取り組みがなされております。

当社では、河川や排水の分析について多くの実績と経験があります。ご不明な点がございましたら、お気軽にお問い合わせください。

資料 [2018 年 7 月 6 日 国土交通省報道発表資料](#)

環境検査箇所 清水圭介